

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 6月11日

【評価実施概要】

事業所番号	1271600544		
法人名	医療法人社団 昭桜会		
事業所名	グループホーム サクラピア成田		
所在地	〒286-0022 千葉県成田市寺台251-2 (電話) 0476-23-5767		
評価機関名	NPO法人 ヒューマン・ネットワーク		
所在地	千葉県船橋市丸山2-10-15		
訪問調査日	平成19年6月7日	評価確定日	平成19年6月14日

【情報提供票より】(平成19年5月14日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・ <input checked="" type="radio"/> 平成 18年 3月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	3人
職員数	12人	常勤 3人, 非常勤 9人, 常勤換算6.6人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2階建ての	1 ~	2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円	
敷金	有(0 円) <input checked="" type="radio"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> 有(260,000円) <input type="radio"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 / 無	
食材料費	朝食	- 円	昼食	- 円
	夕食	- 円	おやつ	- 円
	または1日当たり		1,500 円	

(4) 利用者の概要(5月 14日現在)

利用者人数	3名	男性	1名	女性	2名	
要介護1	1	要介護2	0			
要介護3	2	要介護4	0			
要介護5	0	要支援2	0			
年齢	平均	77.6歳	最低	74歳	最高	80歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	桜台メディカルクリニック、野澤歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>本施設は、成田山新勝寺から程近い住宅地に立地し、昨年新築されたきれいな建物である。広いスペースの清潔に保たれたリビングは、レクリエーションなど多角的に使用している。居室は利用者が自由に好みに合わせてレイアウトして、家庭での生活をそのまま出来るよう配慮している。サービスでは、利用者と家族のような関係を目標に職員が取り組んでいる。例えば、食事はメニュー作りから希望に応じて利用者も楽しく手伝いながら好みの食事を提供している。医療法人が運営していることから、医療面では傘下のクリニックで相談に応じやすく安心出来る点。以上が特徴として上げられる。利用者数は定員を大きく下回っているが、職員は更に質の高いサービスを目指している。</p>	
重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>平成18年3月の開設であり、今回が初めての外部評価である。</p> <p>自己評価をまとめるに当たっては、職員も加わり内容を検討している。職員からは今後地域への参加を目指したいとか、外出を増やしたいなど述べられていて、グループホームとして自己・外部評価を受け入れて、積極的な評価取組み姿勢であり、今後より高いサービス提供が期待できる。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は未設置である。今後の設置に向けて市に民生委員の推薦を要望する予定など具体的に準備を進めていて、運営推進会議は早期に開催する見通しである。今年度は、積極的にこの会議を生かしてサービスの向上につなげ円滑な運営を期待する。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>苦情窓口が設置されている、家族との会話や電話での要望は対応状況も記録されている。家族の来所が多く、ホーム長が話し合いの時間を取って意見交換をしている。施設から毎月発行するサクラピア通信と、お小遣い帳で利用者の状況を細かに家族に知らせている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>今年度は地元の行事に積極的に参加をして地域との交流を活発に行う計画である。7月成田祇園祭、8月の花火大会など参加を予定している。5月に地元消防署と連携して消防訓練を行った、次は11月に予定している、これからは定期的実施する予定である。今後は地域社会との交流が更に深まっていくことを期待する。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は未設置である、今後の設置に向けて市に民生委員の推薦を要望する予定など具体的に準備を進めている。</p>		<p>運営推進会議は早期に開催する見通しである。今年度は積極的にこの会議を生かしてサービスの向上につなげ円滑な運営を期待する。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>グループホーム連絡会は、市と施設のパイプの役割となっている。この場で行政情報を得て、他施設の運営動向を聞くほか、市と個別に助言を受け連携をしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族にグループホームでの生活内容について、毎月一回発行のサクラピア通信と、お小遣い帳などで報告している。日頃家族と会う機会が多いのでその都度利用者の状況を伝えている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族からの意見・要望はその都度記録されている。大きな苦情とされる内容は発生していないが、グループホームからの報告に対して利用者から意見をもらったときはどんな細かいことも、必ず介護記録に記載されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員は現地採用しているので転勤はあまり考えていない。開設後退職した職員はいない。異動と利用者の馴染みとの関連では、差し当たり就業規則により退職を希望する時には早めに届けることにしている。</p>		

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	千葉県のグループホーム連絡会などの研修会に職員が参加して、報告書にもまとめられて皆で活用するなど効果がでている。又グループホーム相互の交流会が計画されており、実践的な技能の習得を期待する。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	成田市のグループホーム連絡会に常に参加し、広く情報を得ると共に自分達が提供するサービスと比較して、サービス向上のために参考にしよう取り組んでいる。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所申し込み時に希望者には一週間程度の体験入居をしてもらい、利用希望者の方の安心感を抱いてもらうように取り組んでいる。又、利用者と家族の希望を取り入れ、朝起きてからの行動を、家庭生活と同様に実現するよう取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	グループホームでは、会話を重視して家族のような関係を目指している。常日頃、利用者と会話を重視して利用者に向き合う時間を持ちながら、時には外出の車の中でカラオケを歌いながら利用者の考えを確認している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時に聞いた利用者の意向や希望は、アセスメントシートに記録されている。日常の提供するサービスの中で、例えば本人の申し出により、利用者から故郷の料理を教えてもらい職員と共に作るなど、互いに思いが伝わり合うように取り組んでいる。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者がかかえる課題や家族からの要望などを的確に捉え、課題別の目標を具体的に設定した介護計画を作成している。作成に当たっては、計画担当者（介護支援専門員、看護婦）のもと管理者、ホーム長、介護職員等が話し合い作成している。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、月1回見直している。定例的に行うカンファレンスの中で、利用者の状況を分析、目標の達成度合いを話し合い、実情に即した計画に改定している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	現在利用者は3名なので、サービスにも余裕が見られ利用者の通院や送迎など必要な支援を行っており、多機能性を活用する考え方が萌芽しつつある。一方、少人数は、一定の規模のグループケアを目指すユニットの運営には支障をきたしている。		現在、利用者は3名のみで適正なグループの規模になっていない。具体的な入所計画も見られないが、今後は、早期に欠員を充足するよう努力をし、多機能性を発揮してグループホーム本来の使命を果し地域の期待に応えることを望みたい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	職員は、利用者が定期的にかかりつけ医、主治医のところに赴き診察を受ける際に必要に応じ帯同して、その都度医師から医療上の注意事項の指導を受けるなど緊密に連携を図り、サービスに反映させている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けての方針について、現在、職員全員が同じ考えを共有するまでに至っていない。法人としては、終末ケアの必要性は将来の方向として感じている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者のプライバシー・プライドの確保については、更衣、入浴、排泄、個室のドアの開け閉め、言葉づかいなどいろいろな面で配慮されている。個人情報の保護についても、外部への情報の扱いなどを記載したマニュアルを備えている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活日課は、食事の時間、入浴日など基本的なことをあらかじめ設けつつも、ときには散歩、書道など楽しみを利用者や家族の希望に添って、取り入れて、日々充実した一人ひとりの生活を大切にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	皆が楽しみにしている食事は、利用者は、経験を生かして、メニュー作りから食材の準備、調理、後片付けまで、職員と共に積極的にかかわっている。利用者にとっては、金平ゴボウや煮物が得意な料理のようだ。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は、週3日午後に設定しているが、日々の利用者の生活状況や健康を配慮し、入浴日以外にも入浴を実施したり、清拭を丁寧に行うなど柔軟に対応している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者が、張り合いを持って過すために、料理や掃除など積極的に役割を担ってもらい生活に潤いを持たせている。また、利用者がやりたがっている市内のスーパーマーケットでの買い物など利用者の計画の実現にむけて模索している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者が、近所の散策など戸外に出かけることは、日常的にあるようだが、自宅への外泊を除くと遠出については、健康面からも限りがあると述べている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の安全を理由に、玄関のドアは常時鍵をかけている。居室については、鍵はつけているが開閉は比較的容易である。外部との連絡は、門扉のテレビ付きインターホンで対応している。時間を限ってでも積極的に玄関の鍵を外すことは考えていない。		鍵は、利用者にとっても、心理的に不安なうえ、施設と地域との関係が疎遠になることも考えられる。地域に密着した施設作りを進めるためにも、地域の人々が建物に入りやすくする工夫をすることにより地域との交流を高めることを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>地元の消防署と連携して5月に避難訓練を実施している。今後も計画を立てて実行していく考えである。グループホームは最新の防災設備を備えていて、職員は火災報知機の作動時の処置方法等を熟知している。</p>		<p>災害時の避難訓練は地域との連携を深めて実施する事が重要である。今後も継続して実施するように取り組まれる事を期待する。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>一人一人の食事の嗜好、食事量、栄養バランスなどを把握出来ており食事に関する支援は的確に行われている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>1年前建設の建物および各部屋は、採光、音、換気など配慮したものになっている。利用者が異食しないよう配慮しながらも、季節の花を生けたり、塗り絵の作品を展示するなど居心地良く過せるよう工夫している。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室における家具等レイアウトは、基本的には利用者及び家族に任せている。自宅から持ち込んでいるたんず類が見られたり、位牌がまつられている部屋もある。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。